健康管理に関する情報

(1) 健康診断・ストレスチェック等実施状況

① 定期健康診断

法定の健康診断項目に加え、がん検診を含む、幅広い項目を実施しています。また、健康保険組合では通常の人間ドック補助に加え、40歳及び55歳の希望者に対し、配偶者も対象とした「節目健診」の機会を設け、費用を全額補助するなどして受診促進に努めています。

健診実施後は、有所見者・要精密検査対象者に対して、社内診療所でのフォローアップを行っています。

定期健康診断受診率 （年度）

2020年度	2021年度	2022年度
99.4%	100%	100%

健康診断結果に基づく精密検査受検率

2020年度	2021年度	2022年度
-	61.4%	67.7%

② ストレスチェック

年1回、「新職業性ストレス簡易調査票（80問）」を使用したストレスチェックを実施しています。 対象には国内の社員のみでなく、海外関連企業出向者も含めています。 高ストレスと判定された者に対してはカウンセラーによる面談を設定し、個別のアフターケアを実施するとともに、集団分析結果に基づき所属長に対するカウンセラーの面談を行うなどのサポートを行っています。

ストレスチェック受検率

2020年度	2021年度	2022年度
99.1%	99.4%	99.5%

③ 特定保健指導

健康保険組合からの委託を受け、特定保健指導を社内診療所で就業時間内に実施しています。 また、40歳未満で将来指導対象となる可能性のある者に対する「先取り指導」の実施も、2023年度より開始する予定です。

特定保健指導実施率

2020年度	2021年度	2022年度
-	66.1%	集計前

④ 婦人科健診

健康保険組合と共同で、一部の事業所では巡回による婦人科健診（乳がん、子宮頸がん）の健診を実施しています。 巡回健診の実施が難しい事業所や会社の健康診断を受診した方、については 婦人科オプション健診の受診機会を設けています。

婦人科健診受診状況（延べ人数）

2020年度	2021年度	2022年度
-	99名	81名

(2) 社内研修の実施状況

1回/年、管理監督者を対象とした健康に関する研修会を実施し、職場リーダー層の知識習得と意識向上を図っています。 また、管理職を対象として、健康経営の考え方を理解してもらうためのeラーニングを展開しました。 今後は一般社員や特定の対象に向けたeラーニング教育コンテンツを充実し、展開していきます。

管理者・監督者向け研修の実施

実施時期	テーマ	受講率
2021年度	無自覚ハラスメント	99.0%
2022年度	エイジフレンドリー （シニア）	100%
	アンガーマネジメント	100%

管理職等向け健康経営の周知

実施時期	テーマ	受講率
2023年度	健康経営の概要理解	96.9%

(3) 有給休暇取得状況

有給休暇取得目標を設定し、計画的取得の促進を図っています。

※ 年間取得目標12日

	1人当たり年間平均取得日数
2022年度	14.2日

(4) 労働生産性に関する指標

戦略マップで示す通り、当社の健康関連の最終的な目標指標として 「アブセンティーイズムの低減」「プレゼンティーイズムの低減」「ワークエンゲージメントの向上」を掲げています。 これらを定期的に測定・評価し、労働生産性の状況を把握して、必要な施策の展開につなげていきます。

指標	測定内容	2020年度	2021年度	2022年度	備考
アブセンティーイズム	傷病による年間欠勤・休職日数	2.08日	2.35日	2.58日	私傷病欠勤延べ日数/労働者数
プレゼンティーイズム	労働生産性低下の割合 (東大１項目版による測定)	–	–	–	2023年度より測定開始
ワークエンゲージメント	個人の活性度 （新職業性ストレス簡易調査法による測定）	–	2.3	2.3	max=4.0